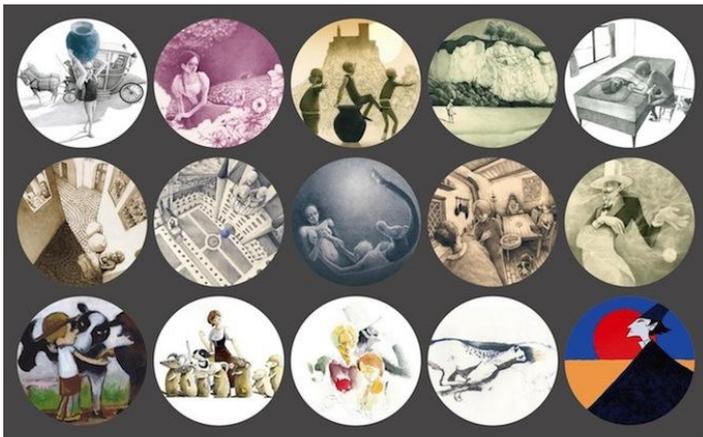


アートのおすゝめ

第3期OB 森本 太郎

早くも小野晃典研究会が10周年を迎えるとのこと、おめでとうございます。2011年は3期生の出産ラッシュもあり、また皆着々とキャリアを積んでいく中で、学生生活も遠い昔のことと言ってしまうところですが、私はというと昨年のご報告したとおり、イギリスで再び学生生活を満喫してきました。

終わってみればあっという間で、今は不思議な夢から醒めてしまった気分です。もっと旅行をしても良かったかなとも思いますが、それでも今までにないくらい色々なところに行けたし、多くの新しい経験や出会いがあったことに十分満足しています。といってもほとんど一日中絵を描いて過ごす生活だったわけですが。あ、書き忘れてましたが、イラストレーション専攻で大学院に通っていました。



www.taro21m.com

Taro Morimoto

contact@taro21m.com

大学院の修了制作展で配布したポストカード

絵に没頭する生活の中で重要な気づきが2つありました。1つは、描けば描くほどうまくなるということ。10代の頃、日々成長を実感しながら、こんな経験は今しか出来ないと思っていましたが、この年になってもなんのまだまだ向上できます。むしろ昔よりも成長曲線は上を向いている気すらしました。きっと10年後もそうなのだろうと思うと夢が膨らみます。

もう1つは、誤解を恐れずに言うと、たった1人でもいいと言う人がいれば、それだけで価値を持つのがアートだということです。しかも面白いことに、すべての人がダメだと言う絵は一つとしてなく、どんな絵でも良いと言う人が絶対にいる。結局、自分がやりたいことをやりたいように追究するのが一番だなと思いました。そういう心持ちでいると、なんだかいろんなことを肯定できるような気がします。

まあ、何が言いたいかという、自分には絵心がないとか左脳人間だとか言わずに絵を描いてみたらどうですかということですね。流行りにのって走ってみたり、ゴルフしたりするのもいいですが、絵に限らず、陶芸でも、彫刻でも、もちろん音楽でも、ものをつくるのも楽しいですよ。上手いとか下手とか、そんなのは気にしないでいいですから。そしてよかったら私の個展にもぜひお越し下さい。

実はしばらく故郷の大阪で働くことにしましたが、きっと個展は東京でやります。海外でもやりたいですね。夢は大きく。どんどん面白いことができるように2012年も挑戦していこうと思います。